



# 和歌山県報

発行 和歌山県  
和歌山市小松原通一丁目1番地  
毎週火、金曜日発行  
定価 (送料共) 1 か月 2,200 円

## 目次

- 監査公表  
監査公表14号

## 監査公表

### 和歌山県監査公表第14号

平成17年3月31日付け和監委第82号の行政監査結果に基づき、知事等から措置を講じた旨の通知があったので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第12項の規定に

### 《知事所管分》

より、次のとおり公表する。

平成18年3月22日

和歌山県監査委員 垣 平 高 男  
和歌山県監査委員 築 野 富 美  
和歌山県監査委員 山 田 正 彦  
和歌山県監査委員 坂 本 登

- 1 行政監査の対象  
平成15年度における県の刊行物について
- 2 行政監査の結果に基づく措置

### (別表) 刊行物監査結果 (行政監査の結果に関する報告書中)

### 措 置 の 内 容

#### 〈環境生活総務課〉

#### 13 平成15年版 和歌山県環境白書

- (1) 本県を取り巻く環境の状況や保全に関する施策を公表することにより、県民への環境保全活動の啓発に資するものであるが、統計資料の出所の表示がなされていない箇所があるので表示する必要がある。  
また、印刷部数を精査するとともに、残部の有効活用を検討する必要がある。

平成17年版環境白書において、データの提出課室に出典を記載するよう依頼し、できる限り出典の表示を行った。  
印刷部数については、予定している配布先のほか、研修会等の資料として活用しているため、ある程度の余部を作成する必要がある。  
平成16年版環境白書の残部は、環境フォーラムで無料配布した。  
なお、平成17年版環境白書は、県環境情報ホームページ「わかやまエコネット」への掲載データの活用を推進し、各都道府県には配布しなかった。また、他の配布先についても配布部数を見直し、200部削減した。

#### 14 STOP地球温暖化 私たちはアースセイバー

- (1) 地球温暖化の原因や影響、その対応について、体系的に紹介されたリーフレットであるが、活字が背景色と同色系であるため読みにくいので表現方法について検討されたい。  
(2) 啓発月間に合わせて作成し、啓発効果を高めるよう検討されたい。  
(3) 計画段階で配布先と印刷部数の検討が十分なされていないため残部が多いので、早期に有効活用を図るよう検討されたい。

平成15年度10,000部印刷、平成16年度10,000部増刷し、推進員の研修やイベント等で有効活用を図り、現在残部なし。  
今後、同様のリーフレットを作成する場合には、表現方法、作成時期及び印刷部数の検討を十分行い、有効利用を図る。

#### 15 家庭でできる温暖化対策

- (1) 地球温暖化防止のため、家庭でできる温暖化対策を促す時宜を得たパンフレットであるが、イラストが多用されており、また、活字が小さく、背景色と同色系の文字など多く使われているため、読みにくいので表現方法を改善する必要がある。

現在残部はありませんが、今後同様のパンフレットを作成する場合には、表現方法を十分検討し作成する。

#### 〈循環型社会推進課〉

#### 16 紀南地域廃棄物シンポジウムチラシ

- (1) 循環型社会を目指した廃棄物シンポジウム周知用のチラシで、市町村を通じ紀南地域の全戸に配布されているが、「循環型社会」そのものについてわかりやすく解説する必要がある。

シンポジウムについては毎年開催されるものではないため、このチラシの今後の発行、増刷はないが、平成16年度に「循環型社会」についてのわかりやすい説明文を展示パネルとして作成したので、活用を図っていく。

#### 〈食品安全企画課〉

#### 17 知っておきたい食品表示

- (1) 消費者の食品選択や衛生上の危害発生の防止、生産者や事業者の適正表示を図るためのリーフレットであり、わかりやすく解説されているが、年度途中で増刷されており、配布先、配布部数を十分検討する必要がある。また、残部についても早期に配布計画をたて有効活用されたい。

リーフレット等の印刷の際には、配布計画を検討した上で、執行する。  
なお、残部については、食の安全タウンミーティングや出張県政おはなし講座などに使用し、全部数を有効利用した。

<p>18 和歌山県食の安全・安心・信頼確保のための基本方針                  (1) 1者見積の随意契約を行っているが、随意契約理由が十分とは言いがたいので入札も含め検討されたい。                  (2) 基本方針としては、必要以上に写真が使用されているので、経費節減のため、内容を主眼とした表現方法を検討する必要がある。</p>	<p>地方自治法等、関連法令に基づき適正に契約事務を執行する。                   パンフレット等の印刷については、その使用目的と併せて経費の節減も考慮しながら実施する。</p>
<p>〈動物愛護センター〉                  19 「わうくらす」教本(生徒用)                  (1) 動物を通じ生命を尊重する心や他者への思いやりの気持ちを育むための教本であり、よく工夫されている。今後、市町村教育委員会、学校と十分連携をとり、さらに動物愛護の精神を広く進めるため有効に、活用されたい。                  20 「こねこ物語」                  (1) 職員の手作りによる漫画によって小学生向きに作成されているが、「ねこ」に起因する諸問題を通して生命の大切さを訴えており、広く活用されるように努められたい。</p>	<p>動物愛護教室「わうくらす」を広く県下に拡大するため、本年度は新たに田辺保健所管内においても開催し、実施校数は昨年度の3校から6校に拡大し、教本を有効活用している。今後は、各保健所管内において最低1校の実施を目指し、教本の活用拡大を図る。                  動物愛護センターで開催する講座等において配布するとともに、市町村からの要請に基づく犬・ねこの正しい飼い方講座等においても配布するなど広く活用している。</p>
<p>〈県民生活課〉                  21 わかやま物価とくらし                  (1) 長年継続して発行されているが、その目的や必要性について現時点で必要か、また、その効果が上がっているかの確認をされたい。</p>	<p>昭和51年度の発行当初は、「わかやま物価だより」として、物価についての情報提供が中心だったが、昭和62年度には、「わかやま物価とくらし」と名称を変更し、消費生活センターに寄せられる相談や、環境問題やエネルギー問題など、県民の生活に役立つ情報の提供に努めてきた。                  さらに、平成17年度には、「きのくに生活情報誌くらしのとびら」と装いを新たにし、悪質商法の被害に遭いやすい高齢者が読みやすいように、レイアウトなども考慮し、県民が必要とする最新で適切な生活の情報を提供している。                  特に、架空請求や悪質リフォームの被害が増加する中で、消費者の自立支援のための各種講演会、研修会の案内などの情報提供も行い、消費者出前講座等で配布し、啓発することにより、被害の未然防止、拡大防止を図った。                  今後も、より一層、情報内容の充実にも努めていく。</p>
<p>〈NPO協働推進課〉                  22 わかやまNPO情報                  (1) NPOの認知度を高めるとともに、活動に参加する人を増やし、NPOと行政の協働を促進するために作られた情報誌であるが、配布効果を検証するとともに配布先を精査する必要がある。</p>	<p>配布先については、残余部数の確認を行い、次回の配布先や配布部数の参考としている。                  また、NPOに対する若者の意識の高まりから、大学や高校、新設の集客力のある施設や最近設立された県内各地のNPO中間支援組織へ配置を始めている。                  今後、情報誌について、県NPOサポートセンター来訪者への聞き取り調査や、紙面、HP、メールマガジンなどでの意見・要望を募集することにより、配布効果や配布先を検証し、その結果に基づき、紙面の充実を図るとともに、効果的な配布先を精査していく。                  なお、年3回発行では、タイムリーな情報を提供することが困難であるため、平成17年度からは発行回数を年6回とし、より利用しやすい情報誌とした。</p>
<p>〈青少年課〉                  23 いよいよ中学生                  (1) 中学生の非行を防止する16のポイントが紹介された冊子で、小学6年生の保護者に配布されているが、保護者の意見や感想を聴取するとともに非行防止のマニュアルとして活用されたい。                  (2) 問い合わせ先に県青少年総合対策本部や(社)県青少年育成協会の連絡先がないので明示されたい。                  (3) 活字が小さく、また背景色と同色系の文字であるため、読みづらいので、表現に工夫する必要がある。</p>	<p>冊子中に、はがき形式のページをもうけ保護者からの意見等を聴取できるよう改善した。                   裏表紙に発行所及び編集者の連絡先等を明記した。                   冊子をA5判からB5判に変更し、一部の活字等を大きくしたり、色合いを変更したりするなどの工夫をして見やすくした。</p>
<p>〈男女共生社会推進課〉                  24 男女共同参画で描く新しいふるさと和歌山                  平成15年度版年次報告書                  (1) 男女共同参画の状況や施策の実施状況を年次報告にまとめたものであるが、別途、センターが発行している事業概要と情報が重複しているため、編集に工夫されたい。                  (2) 民間団体等の取組についても、今後年次報告に搭載するよう検討されたい。</p>	<p>センター事業概要部分については削除した。                   平成16年度年次報告書第4章に、男女共同参画を進めるための「県民の皆さんの取組状況」を掲載した。</p>

<p>(3) 活字の見出しの色彩が薄く文字が読めない、配色など読みやすさに配慮する必要がある。</p> <p>(4) 必要以上の装丁がなされているので、経費節減の観点から紙質等を検討されたい。</p>	<p>見出し活字については、読みやすさに配慮して作成した。</p> <p>平成16年度より、紙質を落とし、2色刷から1色刷に変更した。</p>
<p>〈男女共生社会推進センター〉 25 ワカちゃんの男女共同参画日記</p> <p>(1) 男女共同参画啓発のための啓発用冊子であるが、年度途中で増刷されているので、当初の配布先、配布部数の計画を見直されたい。</p> <p>(2) 市町村へ配布するにあたっては、活用状況の確認を行う等、配布効果を適宜把握する必要がある。</p> <p>(3) 講演会、研修会等で配布するときは、刊行物の要旨等の説明も加えようとして配布し、実効あるものとされたい。</p> <p>26 男女共同参画ガイドマップ 新しいふるさとわかやまみーつけた!!</p> <p>(1) 男女共同参画の地域活動を行っている団体を紹介しているが、地図が重複しているうえ、地図と記事の配置が混在しているため、読みやすくするようレイアウトを工夫されたい。</p> <p>(2) リーフレットの活用状況の確認を行う等、配布効果を適宜把握する必要がある。</p>	<p>今後パンフレット等を作成する際には、御指摘を踏まえ、以下の点に留意の上、作成する。 配布先、部数を精査し、配布計画を立てる。</p> <p>活用状況の確認を行うなど、配布効果の把握に努める。</p> <p>研修等で、配布する際には、刊行物の要旨等の説明を徹底する。 今後パンフレット等を作成する際には、御指摘を踏まえ、以下の点に留意の上、作成する。 作成に当たっては、「見やすさ」に配慮したレイアウトとなるよう工夫する。</p> <p>活用状況の確認を行うなど、配布効果の把握に努める。</p>
<p>〈商工労働総務課〉 37 平成15年度版 きのくに産業白書</p> <p>(1) 中小企業金融の円滑化や県経済の動向についてまとめられた冊子となっているが、地場産業の動向や現状を盛り込むことを検討されたい。</p>	<p>商工振興課作成の「わかやまの地場産業」との記載内容と調整し、重複して記載されている部分を削除するとともに、地場産業に関連した製造業の項目を充実する措置を講じた。</p>
<p>〈商工振興課〉 39 和歌山の皮革産業</p> <p>(1) 県工業技術センターと製革事業協同組合との共同で開発された、皮革製品の特徴や良さを掲載したパンフレットであるが、研究成果を和歌山のブランド皮革製品として大きく取り上げ、需要拡大に繋げられたい。</p> <p>(2) パンフレットの配布残部数については、配布計画を立て今後有効活用されたい。</p> <p>40 紀州の伝統工芸品</p> <p>(1) 紀州伝統工芸品の8品目が紹介されているリーフレットであるが、伝統工芸品の技術を後継者に引き継ぐため伝統技術そのものの紹介をするなどの工夫が必要である。 また、伝統工芸品の需要の拡大のためにも、幅広くリーフレットの活用を図られたい。</p>	<p>今後、新たにパンフレットを制作する場合は、研究成果を紹介することで、和歌山皮革製品のイメージを高めるよう検討する。 なお、研究成果については、状況の変化に応じ、その都度、ホームページへの掲載や報道機関への資料提供等によりPRに努めている。 残部については、計画を立て、パンフレットの配布を行い、和歌山の皮革製品のPRに努めた。現在、残部はなし。</p> <p>今後、新たにリーフレットを制作する場合は、伝統技術・技法を紹介するように検討した。 リーフレットについては、伝統工芸品の需要拡大を図るため、展示会にて配布を積極的に行うとともに、県内の小中学校への配布を随時行い、伝統工芸品をより教育の場で取り上げてもらえるよう努める。</p>
<p>〈工業技術センター〉 41 デザイン高度化推進モデル2</p> <p>(1) 産・学・官が協力し、企業における製品をデザイン・企画の高度化推進のための提案、研究結果をまとめた冊子であるが、冊子の配布残部数については、今後配布計画を立て有効活用されたい。</p>	<p>残部数については、「わかやまテクノフェア2005」、デザイン力開発講座及びデザイン相談・指導において配布を完了した。</p>
<p>〈観光振興課〉 42 観光ガイドマップ</p> <p>(1) 観光地図、問い合わせ先交通網の内容を一部抜粋した別刷りの観光マップ・ダイジェスト版を作成しているが、それぞれの印刷物を有効活用し、誘客を図るよう努められたい。</p> <p>43 タクシー de 王様気分</p> <p>(1) 白浜を中心に広域エリアにおいて企画したもので、「タクシーを利用した周遊モデルプラン」を観光客に周知し、広域エリア地元観光地への誘客を図ることになっているが、県内各観光地においても、こうした周遊プランにより誘客を図るよう努められたい。</p> <p>44 和歌山県観光情報「紀州浪漫」</p> <p>(1) 和歌山県の認知度向上やイメージアップ等誘客を図るための観光情報誌となっている。また、四季を通じての和歌山県の各地域の観光ガイドとなっており、今後も幅広い観光情報の提供により誘客に努められたい。－ なお、アンケート結果についても、適宜紹介するよう工夫されたい。</p>	<p>県全域のマップ及び主要観光地を紹介した観光ガイドマップ及びダイジェスト版を用途に応じて、問い合わせや各種大会等に活用し、県内外からの誘客に努めている。</p> <p>広域エリアにおけるモデルコース等については、各地域において作成する観光パンフレットに掲載しており、また紀州浪漫トピックスにおいて交通機関のお得な情報を掲載するなど周知に努めている。</p> <p>季刊の観光情報誌として、毎号特集を組んで県内各地域を紹介し、誘客を図っている。 また、アンケートについては集計し要望の多い観光地を紹介していくよう努めている。</p>

<p>〈観光交流課〉 45 和歌山県観光体験ガイド 「ほんまもん体験」 (1) 和歌山県の体験型観光の情報を多く掲載し、多用なニーズの対応にも応えられる詳細な情報が織り込まれているが、今後参加者の体験談を募集し、その体験談を掲載するなど、内容の充実に努められたい。</p>	<p>「ほんまもん体験」パンフレットについては、現在改訂作業中です。 本年度は市町村合併が全県的に実施されているため、大幅な改訂が必要と考えており、平成16年度の行政監査意見を加味した改訂版を作成する予定です。</p>
<p>〈雇用推進課〉 46 パワーアップセミナー開催告知ポスター 47 チラシ (1) 就職希望者に対して有効な就職指導を行うための講座の開催を周知するためのポスター・チラシであるが、印刷見積書に経費内訳がないので、経費の積算内訳を徴し、印刷物の費用対効果を検証されたい。 48 ジョブカフェ周知ポスター 49 チラシ (1) 就職に対する悩みや不安を抱える若者の相談にじるための支援センター開設に伴うポスター・チラシであるが、作成時期が開設と同時であったため周知効果が低いと思われるので、今後事前広報に努められたい。</p>	<p>今年度よりパワーアップセミナーの開催及びジョブカフェ運営を1つの事業として取り組み、経費の積算内訳を記載した見積書を徴するとともに、それぞれのポスター・チラシの作成についても、同一業者に依頼すること等により経費削減を行った。  作成時期については、新年度に入りすぐに作成に取りかかりできるだけ早く広報するように努めた。</p>
<p>〈生涯学習〉 66 きのくに県民カレッジ「メニューブック」 (1) 県や市町村等が実施する生涯学習講座のメニューブックであるが、受講者の多用なニーズに応えられるよう、内容をさらに充実するとともに、利便性を考え地域別に整理することも検討されたい。 (2) 県民の方々に広く周知するため、配布先や配布部数、配布方法を十分検討する必要がある。 (3) 配布効果を知るために、配布先の検証を行うとともに、冊子の活用状況を把握する必要がある。 67 「みんなではぐくむ子どもの未来」 (1) 学校週5日制の実施に伴い、学校・家庭・地域社会の連携協力を図るために作成されたリーフレットであるが、地域での活用も含め、配布対象を広めていく必要がある。 (2) このリーフレットはPTAの研修会等で活用されているが、アンケートを実施するなど、内容の充実に努められたい。 68 人権教育資料第30集「明日へのとびら」 (1) 学校における人権教育に係る実践事例等を掲載した資料集であるが、この事例等を教育現場でより一層活用するよう努められたい。</p>	<p>受講者の多様なニーズに応えられるよう、県、市町村、大学、NPO等に講座・教室の提供を働きかけ、内容の充実に努めるとともに、平成17年度から主催・連携講座について紀北・紀南の地方別に整理して提供している。 配布効果を知るため、市町村教育委員会に実施した「県民カレッジ」関係資料活用状況調査結果をもとに、より効果的な配布に努めた。  本リーフレットは、平成15年度に臨時に作成したリーフレットである。 今後、同趣旨での刊行物を作成する場合は、アンケートを実施するなど内容充実に努め、地域での活用も含め、配布対象を広めていく。  市町村教育委員会事務担当者会議、県立学校長会及び教頭会、各地方小中学校長会、指導委員・指導主事連絡協議会等の会議並びに教員を対象とした研修会等において、資料にその内容や活用方法について記載するとともに説明し、より一層の活用が図られるよう努めている。</p>
<p>〈近代美術館〉 69 全館コレクション展「美術百科「7つの鍵」の巻」ポスター (1) 開催期間がテーマによって異なっているため、テーマ別の開催時期を記載しているが、よりわかりやすい表示を検討する必要がある。 (2) 周知やより効果を高めるため、ポスターの掲示の期間を十分とるとともに、交通機関等人の集まる場所へ掲示するなど、より適切な掲示や配布を検討する必要がある。 70 和歌山県立近代美術館要覧 (1) 美術館の施設概要を紹介したパンフレットであるが、1者見積の随意契約を行っており、今後入札も含め検討されたい。 〈博物館〉 71 特別展「天野の歴史と芸能」図録 (1) 一部有償で頒布しているが、販売価格については、印刷費等を考慮のうえ、妥当な価格設定をされたい。 (2) 無償配布については、必要最少限の配布とし、有償・無償の表示を明確にするとともに、管理を適切に行う必要がある。 72 研究紀要(10号) (1) 天野地域の文化財や歴史的な背景についての研究成果をまとめた冊子で、一部有償頒布しているが、販売価格については、印刷費等を考慮のうえ、妥当な価格設定をされたい。</p>	<p>ポスターが元来持つデザインの重要性を堅持しつつ、テーマ別の開催時期等必要な情報をより分かり易く表示するよう工夫する。 今後は掲示期間を十分とれるよう留意するとともに、新規掲示場所の開拓など、費用対効果を検討しながら、より効果的な掲示、配布を行う。  今回は増刷が主たる目的であったが、今後新たに改訂を行う際には、その都度入札を行うよう検討する。  今後は、展覧会関連一式ではなく印刷物ごとに単価が明確にわかる書類を作成し、妥当な価格設定を行う。 無償配布先については、十分な精査を行い効率的な配布に努める。また、有償・無償分の管理についても、御指摘の趣旨を踏まえながら適切に行う。  今後は、展覧会関係一式ではなく印刷物ごとに単価が明確にわかる書類を作成し、妥当な価格設定を行う。</p>

<p>(2) 無償配布については、必要最少限の配布とし、有償・無償の表示を明確にするとともに、管理を適切に行う必要がある。</p> <p>(3) 印刷経費決減のため、紙質等を考慮されたい。</p>	<p>無償配布については、十分は精査を行い効率的な配布に努める。また、有償・無償分の管理についても、御指摘の趣旨に踏まえながら適切に行う。</p> <p>今年度から紙質を落とすなど、経費節減に努めている。</p>
<p>&lt;自然博物館&gt;</p> <p>73 永井コレクション・カニ類目録</p> <p>(1) この冊子は、個人のカニコレクションをまとめた目録であるが、一般入館者にもわかりやすい情報提供に努められたい。</p> <p>74 展示解説書第16集恐竜時代 I N和歌山 -化石となった太古の生きものたち-</p> <p>(2) 無償配布については、必要最少限の配布とし、有償・無償の表示を明確にするとともに、管理を適切に行う必要がある。</p> <p>(3) 1者見積の随意契約を行っているが、今後入札も含め検討されたい。</p>	<p>他の図書とともに館内レクチャールームに配架し、一般入館者が閲覧できるようにした。</p> <p>また、日曜日及び祝日は、レクチャールームを図書室や学習相談の場とし、自然科学の情報提供に努めている。</p> <p>無償配布する刊行物については配布先の選定等を十分検討するとともに、有償刊行物についても、適切な管理と販売促進に努めている。</p> <p>平成16年度は発刊していない。</p> <p>今後は、2者以上から見積を徴するよう努める。</p>